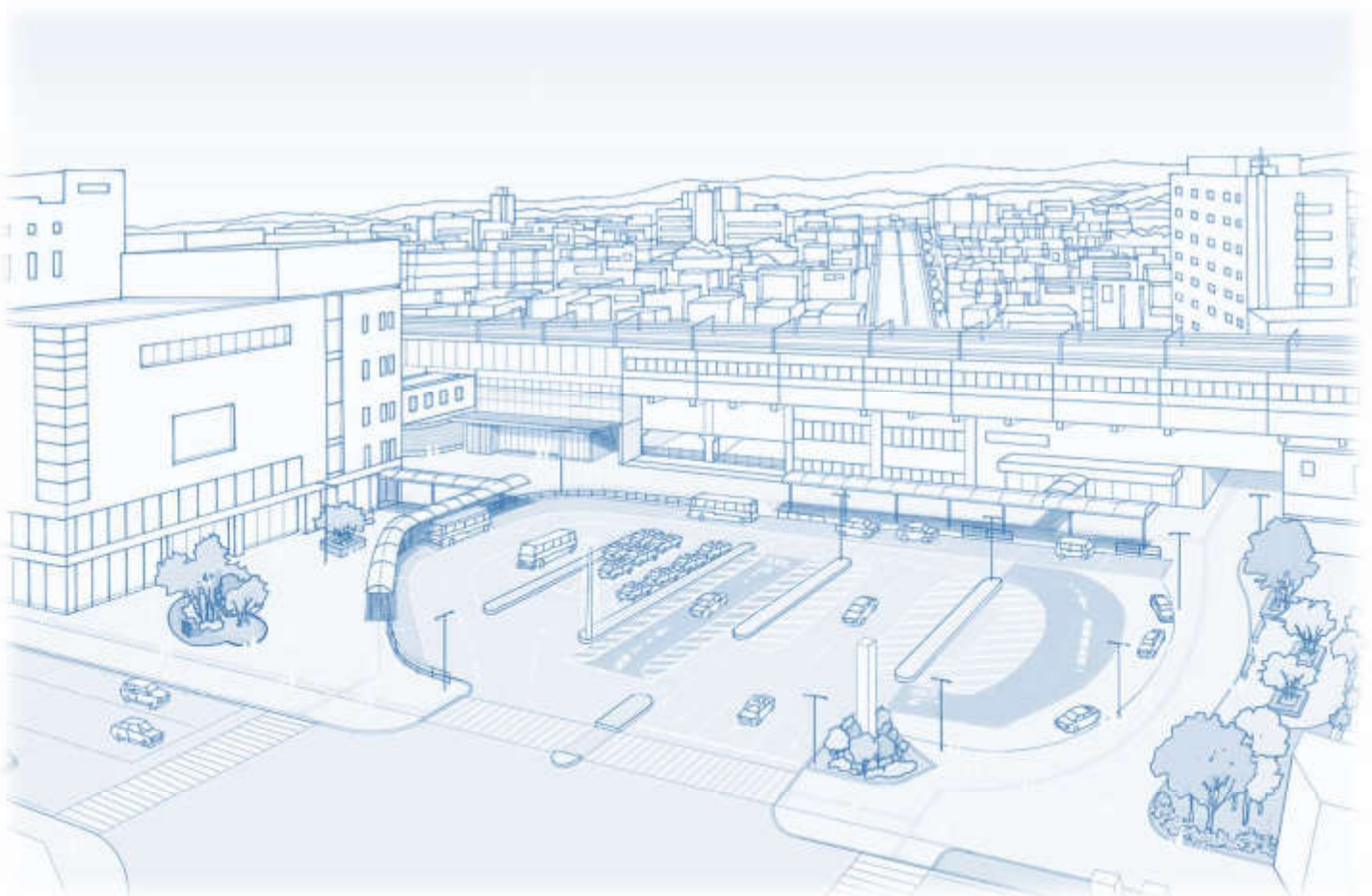


RE newal of Chitose station square.

千歳駅前広場 再整備基本計画

RE newal of Chitose station square.



RE
newal
of Chitose station square.



■ 千歳市について	01
■ 千歳駅前広場について	02
■ 駅前広場再整備の背景と目的	03
■ 駅前広場の現状の課題	04
■ 再整備基本コンセプト	05
・交通 - 安全性・利便性の高い交通空間の形成	07
・空間 - くつろぎと賑わいを生み出す快適な空間の創造	09
・情報 - 情報発信拠点としての機能強化	11
■ 再整備基本計画図	13
■ 西口整備イメージ	15
■ 東口整備イメージ	17
■ 検討プロセス	19
■ 駅前広場のQ&A	21

now
— 現在

千歳市について



都市環境が調和したまち

～自然・都市環境・交通の要衝～

千歳市は、北海道の空の玄関である新千歳空港や自然豊かな国立公園支笏湖などを有しており、『交通の要衝・自然・都市環境』の機能を兼ね備えた都市環境が調和したまちです。

また、千歳市の平均年齢は、北海道内において最も若く、人口増加を続けている数少ない都市であり、現在、人口10万人のまちづくりに向けたさまざまな取組を推進しています。

自然

恵まれた自然環境



生活

安心して豊かさを感じる暮らし



交通

利便性の高い都市交通機能



now
現在

千歳駅前広場についで

まちの玄関口の再整備へ

まちの玄関口である千歳駅周辺では、近年、インバウンドの増加に伴い、ホテルが多く建設されていることや、バス路線の再編により千歳駅における路線バスの利用者が増加するなど、周辺環境が大きく変化しつつあります。

こうした社会情勢の変化を踏まえ、“まちの玄関口”である千歳駅前広場の再整備のニーズは高まっています。



人口の増加

人口減少時代の人口増加

全国的に人口減少が加速するなか、千歳市では人口が増加しており、増加率は道内市部で第1位となっています。（平成27年度国勢調査より）



観光客の増加

国内外からの観光客の来訪

千歳市は北海道の空の玄関口である新千歳空港を有しており、観光客をはじめとした多くの方が来訪します。

千歳駅の乗降者数はここ10数年で約1.2倍に増加しています。



バス利用者の増加

市民の生活の足としての機能

平成28年には、バス路線の再編を実施し、千歳駅と市民病院を核とした交通網を構築しました。その結果、路線バスの利用者は約2割増加し、千歳駅における路線バス利用者も増加しています。



駅周辺環境の変化

ホテルやマンションの建設

インバウンドなどの増加に伴い、千歳駅周辺では、多くのホテルが建設され、ホテルの客室数もここ10数年で約1.6倍に増加しているほか、空港勤務者をはじめとした居住者も増加しています。

まちの玄関口となる

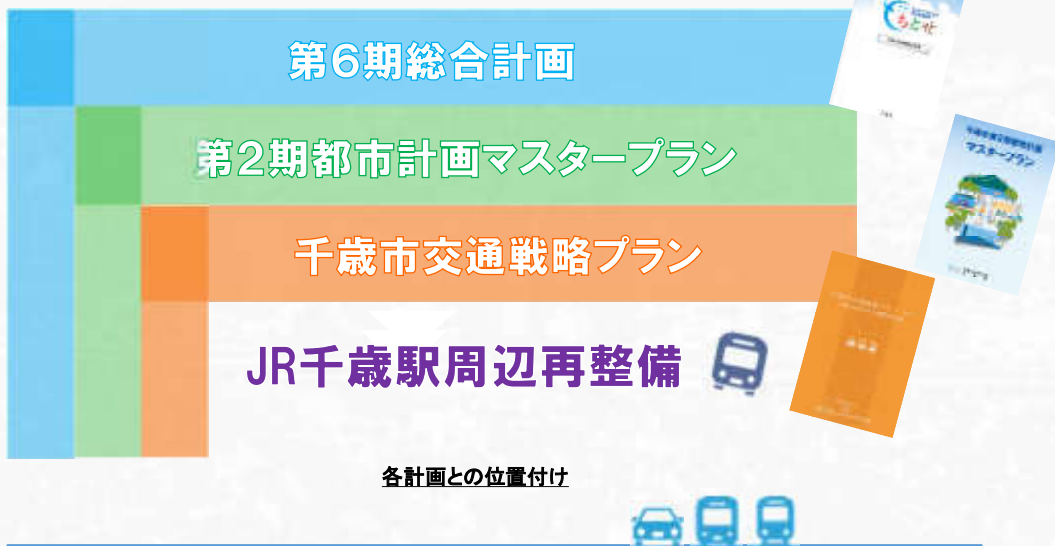
RE
newal

駅前広場の再整備

駅前広場再整備の背景と目的

千歳駅は、通勤・通学・観光等1日約17,000人の乗降がある本市を代表する駅である一方で、現状、広場内における路線バスと歩行者動線の交錯や送迎車両の需要増による乗降場の混雑など様々な課題があることから、本市では、平成28年3月に「千歳市交通戦略プラン」を策定し、「千歳駅前広場の再整備」を位置付けました。

駅前広場の再整備に当たっては、インバウンドの増加やバス路線再編に伴う千歳駅前広場の利用者の増加や駅前広場周辺におけるホテルの建設や増築など、社会情勢状況の変化に対応するとともに、バリアフリー化や景観デザインなども踏まえた、千歳市の玄関口としてふさわしい交通結節機能、交流機能や防災機能を兼ね備えた駅前広場に再整備し、便利な交通と賑わいが一体となった交流拠点づくりを目指します。



各計画との位置付け

千歳市交通戦略プラン

基本方針3

“賑わい”と“交通結節点機能”が
一体化したJR千歳駅前広場の再整備

千歳駅前広場の主な課題

- 西口広場がバス専用道路で分断されていることによる、「わかりにくい歩行者動線」や「歩行者の乱横断」
- まちの顔としての「賑わい不足」や、駅前広場としての「防災機能不足」
- マイクロバスや送迎車両等の増加による、「一般車専用乗降場の混雑」
- 寒くて暗い「東口バス乗り場の待合環境」

千歳駅前広場再整備に関する施策

- 交通結節点としての「安全性、利便性」に配慮した整備の検討
- 「くつろぎ賑わう空間」の創出や「防災機能の強化」
- 市民、観光客等が集う拠点として、「情報発信機能」を強化

駅前広場の現状の課題

1 駅へのアクセスがわかりにくい

2 駐車がしにくく、使いにくい駐車場

3 朝夕の送迎時、一般車やマイクロバスにより混雑が発生する

4 樹木の枝葉の影響で、夜は薄暗い



5 西口バスレーンが歩行者導線を分断しており、東西広場へのアクセスが弱い

6 バス待合環境が暗くて寒い

7 バスの乗り換えやJR利用時に、バスレーンで分断され歩行者導線が良くない

8 バスレーンを渡る乱横断が多く危険であり、平面移動ができない

9 一般車用乗降場が観光バスやマイクロバスで混雑している。

凡例： ■ 交通の課題 ■ 利用環境の課題 ■ 待合環境の課題

交通・賑わいが一体化した交流拠点へ

社会情勢の変化への対応や駅前広場の現状課題を踏まえ、駅前広場再整備における基本方針と3つの軸を設定します。

基本方針

“便利な交通”と
“賑わい”が一体化した
交流拠点づくり

3つの軸と方向性

① 交通結節機能の強化

② 駅前広場の安全性と利便性の向上

③ 賑わいや憩いの空間の創出

④ バス待合環境の改善

01
交通

安全性と利便性の
高い交通空間
の形成

02
空間

賑わいや憩いを
生み出す快適な
空間の創出

RE
newal

03
情報

情報発信拠点としての
機能強化

⑤ 案内機能や情報の充実

まちの玄関口としての役割

千歳駅前広場は、交通結節点やにぎわいの空間、憩いの空間、情報発信拠点としての役割はもとより、近隣都市や地域、空港、中心市街地と密接な関係があるため、駅前広場の再整備を行い、魅力を高めることにより、まちの活性化にもつながります。





方策

- ・西口広場のバスレーンの廃止と2号連絡歩道の改修により、わかりやすく安全に移動できる歩行者導線を整備します。
- ・バス、電車、タクシーなどの交通機関相互の乗り換えのしやすさと利便性を向上させます。

バスレーンの廃止+2号連絡歩道の改修 でこう変わる！

1. 西口広場の歩行者導線が改善されます！
2. 交通機関相互の乗り換えがわかりやすくなります！
3. 西口広場と東口広場の往来が容易になります！



2号連絡歩道 アクセス強化イメージ図



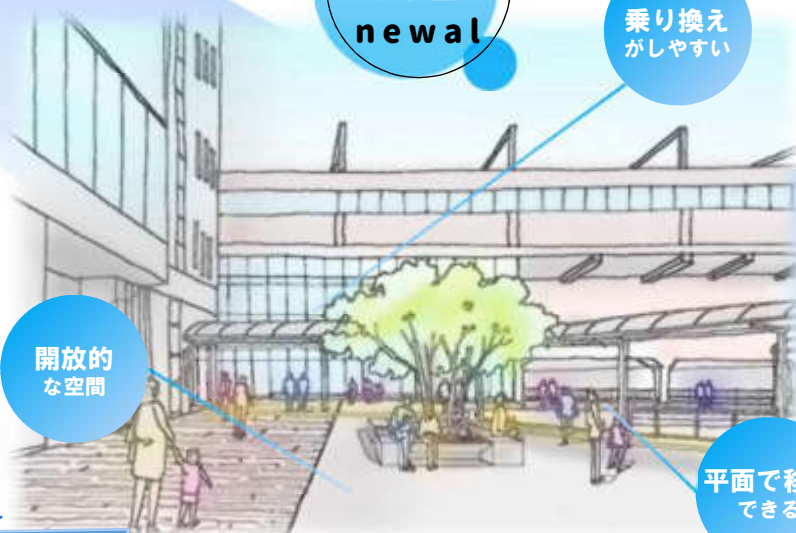
Before

交通結節点機能の強化と歩行者導線の改善

より多くの人わかりやすく安全に移動できるまちの玄関口「千歳駅前広場」を創出します。

RE
newal乗り換え
がしやすい開放的
な空間平面で移動
できる

After

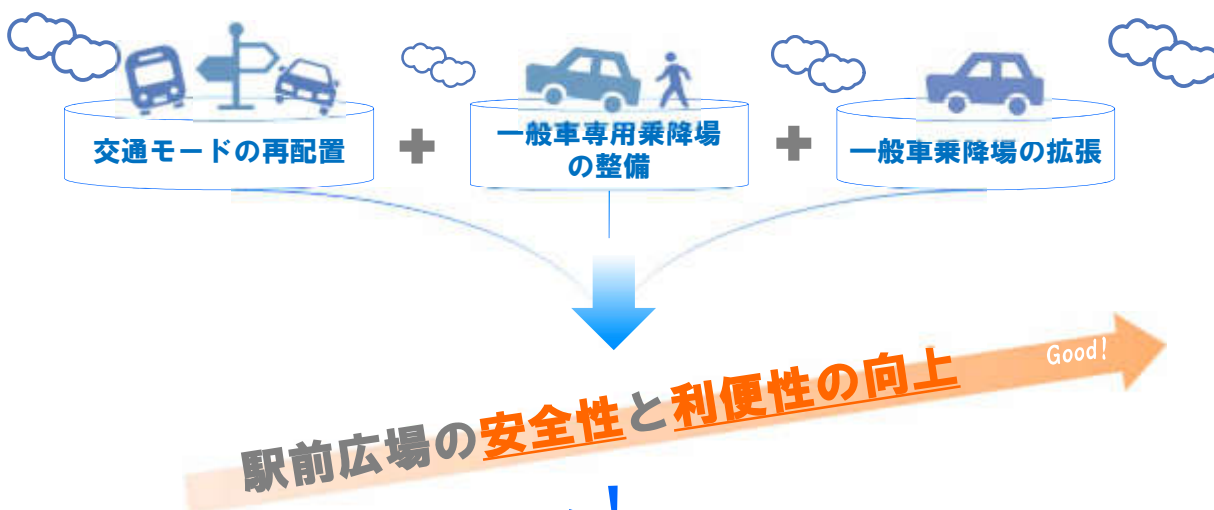


交通

安全性と利便性の高い交通空間の形成

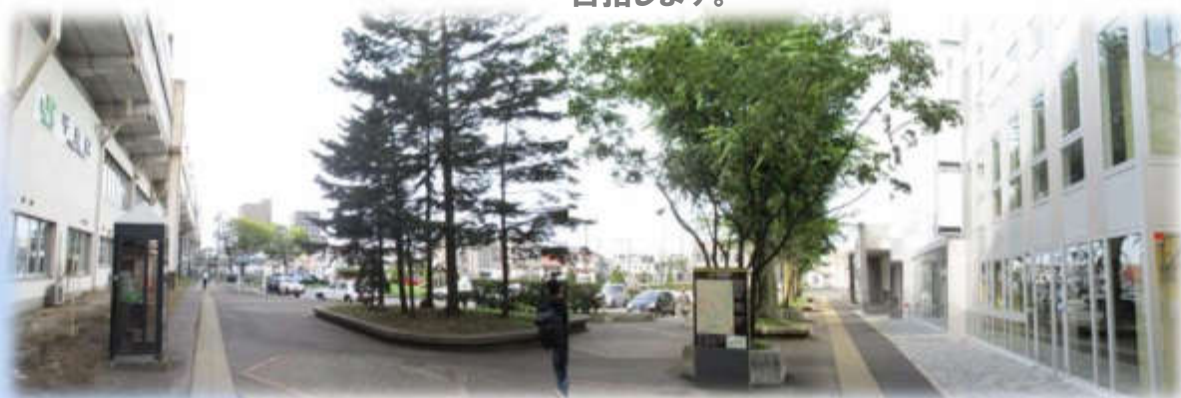
方策

- ・観光バス・マイクロバス・一般車の乗降場を分離し、広場内の交通の混雑緩和を目指します。
- ・通過車両の専用レーンを整備し、車両導線を極力分離することにより、広場内の交通の安全性を向上させます。

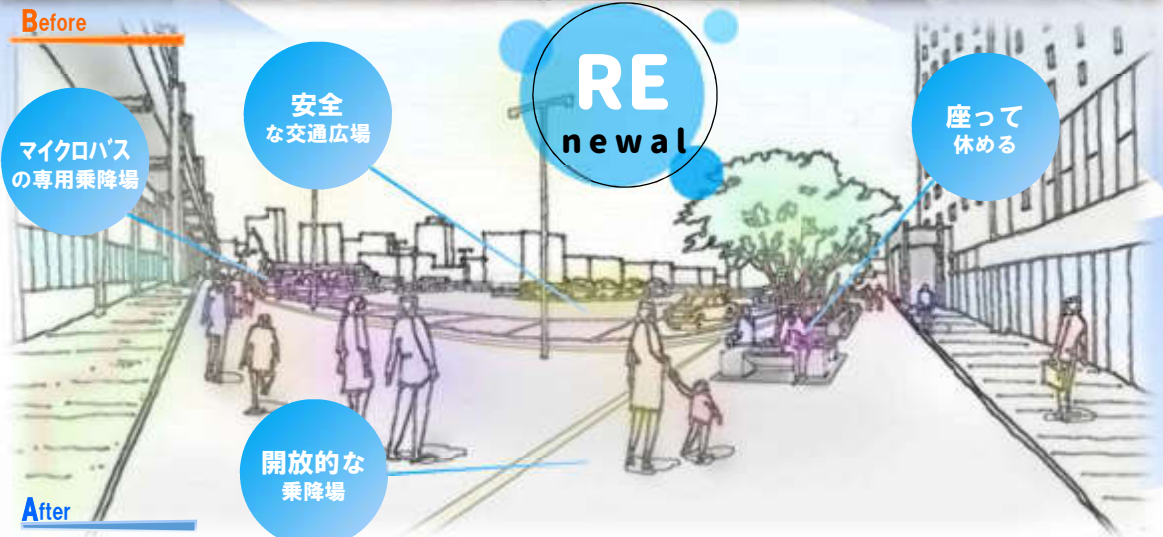


一般車乗降場の混雑緩和

通過車両専用レーンやマイクロバス専用乗降場の整備、一般車乗降場の拡張により、混雑の緩和を目指します。



Before





方策

- ・西口広場は、既存の緑地空間を生かしつつ、ベンチの更新やライトアップにより、人が集い憩えるような空間を創出し、防災機能を整備します。
- ・東口広場は、生育状況や安全性を考慮し、高木を一部伐採し、新たに周囲と調和した樹木の植栽やベンチの設置、ライトアップなどにより、西口広場と一体的な空間を創出します。

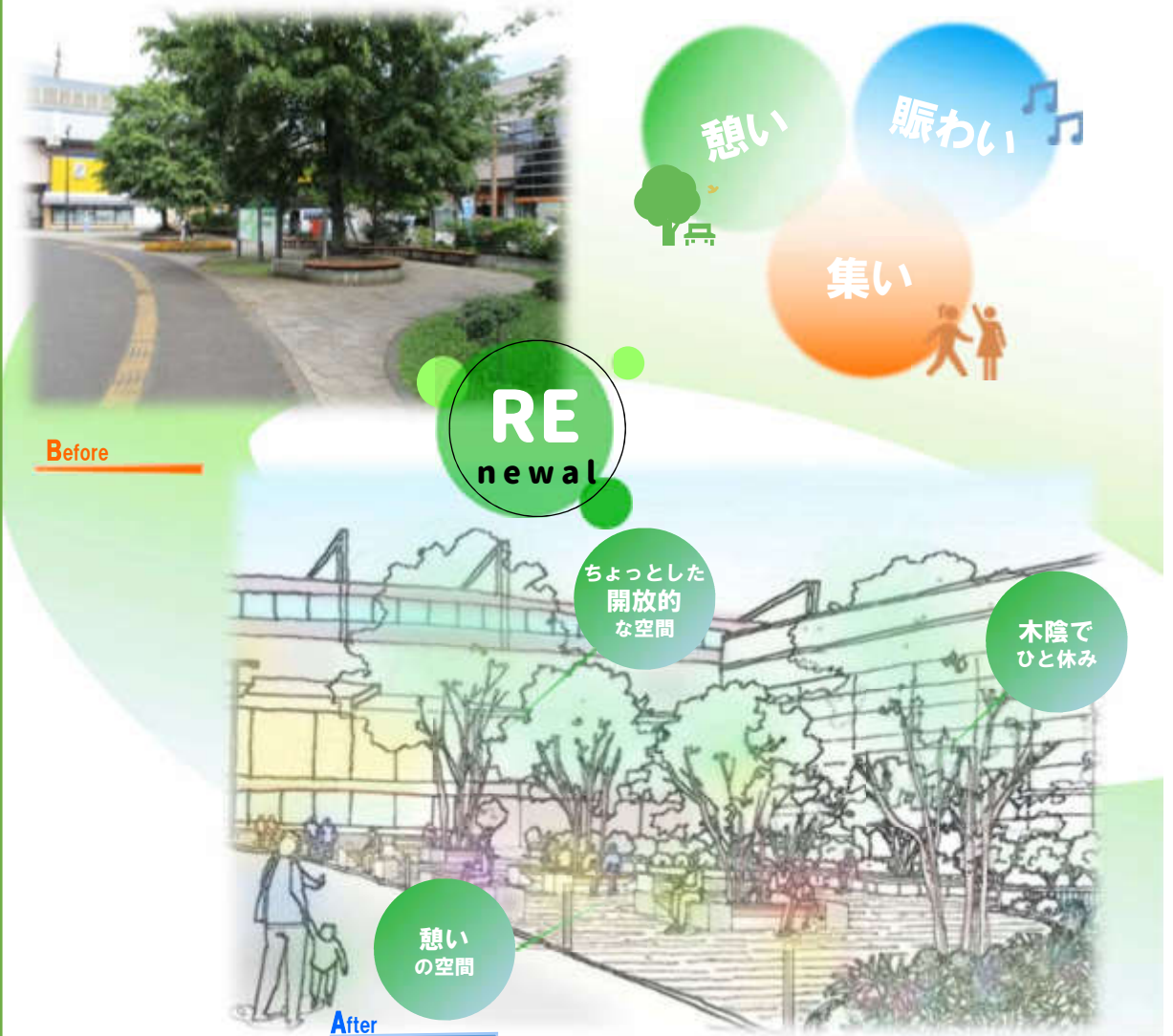
No. 02

空間

くつろぎと賑わいを生み出す
快適な空間の創出

人が集い憩える空間

開放的で明るい空間に整備し、市民や来訪者が集い、快適に利用できる空間を創出します。



方策

・東口バス乗り場を風除室などで室内化したうえで、ベンチや照明を設置することにより、防災機能を有した、明るく快適なバス待合環境を整備します。



座って休憩できるベンチ

バス乗り場や乗降場の付近には、ベンチを置いて、座って休憩できるような空間を創出します。



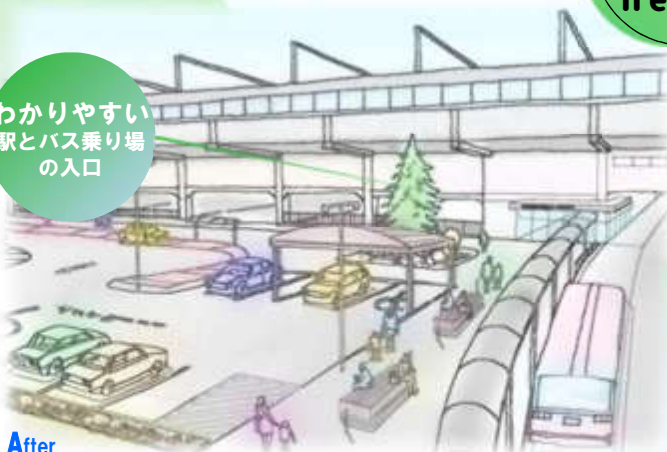
ベンチに座って少し休憩

風雨を凌げる風除室

REnewal

Before

わかりやすい駅とバス乗り場の入口



After



方策

- ・千歳駅前広場を訪れる外国人観光客などのために、案内機能の多言語化を充実します。
- ・来訪者のニーズに合った案内情報や災害時の情報を配信するための検討を行います。



外国人の利用者向けのバスガイド※



多言語化された駅周辺案内地図※

多言語化された案内板

千歳駅前広場を利用する、多くの来訪者に配慮した案内サインを充実させ、利便性を向上させます。

誰もがわかりやすい

様々な利用者に配慮した情報の発信に努めます。



利用者の目線に立つ

駅前広場を利用される方の目線に立った案内配置を検討します。



外国人の利用者向けのバス乗り場案内板※

No. 03 情報

情報発信拠点としての機能強化

様々な利用者に対応した案内と誘導

Good!



詳しい構内案内・地図表記



どんな人でも、見やすく、わかりやすいよう、大きさや設置場所などに配慮した詳細地図の導入を図ります。

ひと目でわかるサイン



ピクトグラムの活用により、ひと目で理解ができるサインの導入を考えます。

いつでも見やすい案内板



時間帯や天候に関わらず、いつでも見やすい案内板の設置を検討します。

複数の交通機関への誘導

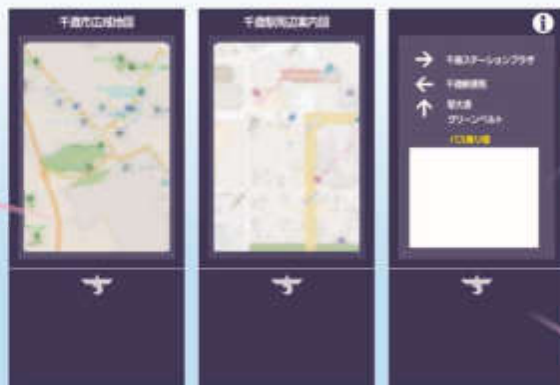


電車やバス、タクシーなど、複数の交通機関への利用がしやすいよう、効果的なサインの導入を図ります。

RE
newal



欲しいところに欲しい情報を

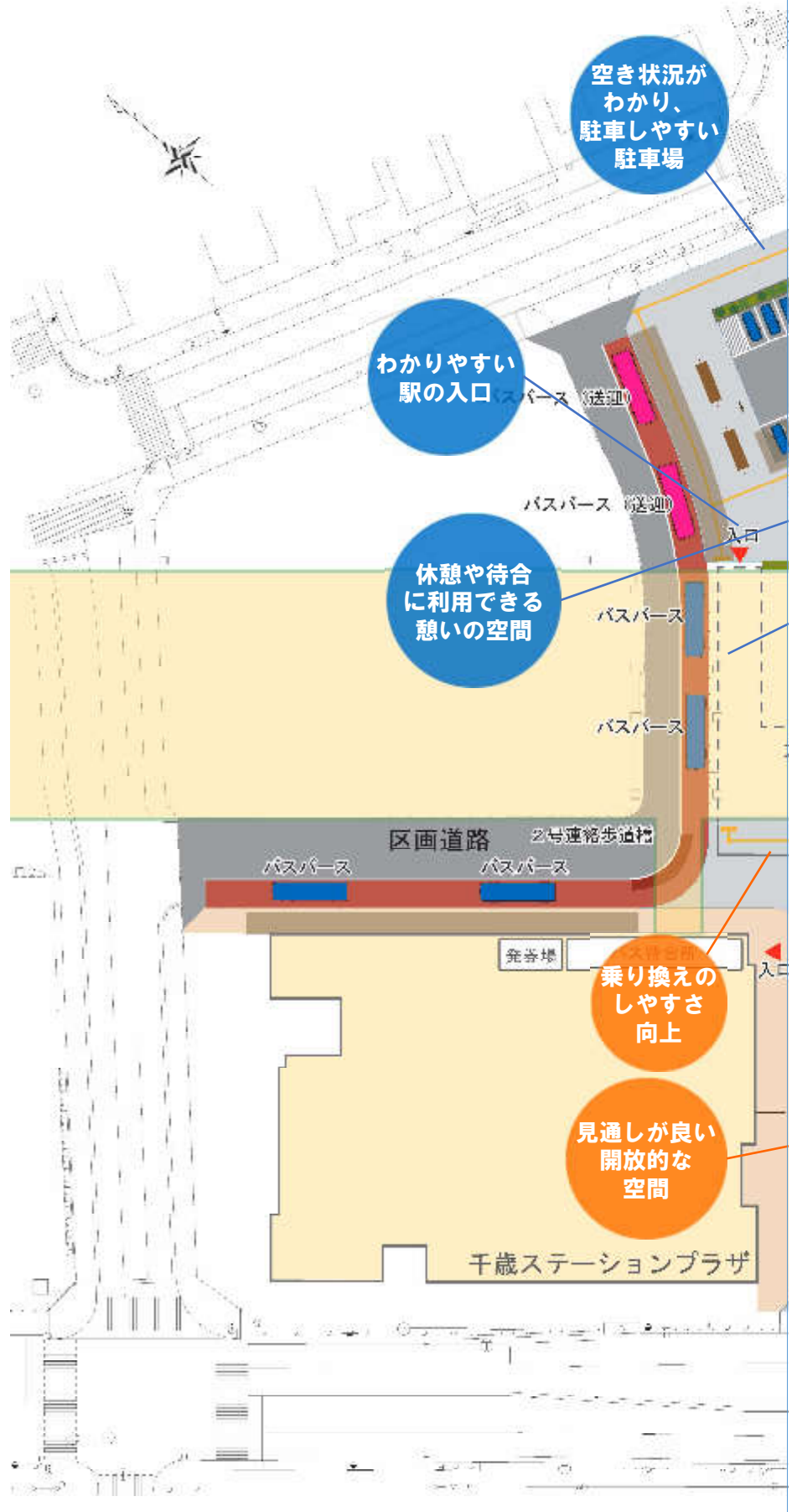


わかりやすい案内

景観との調和

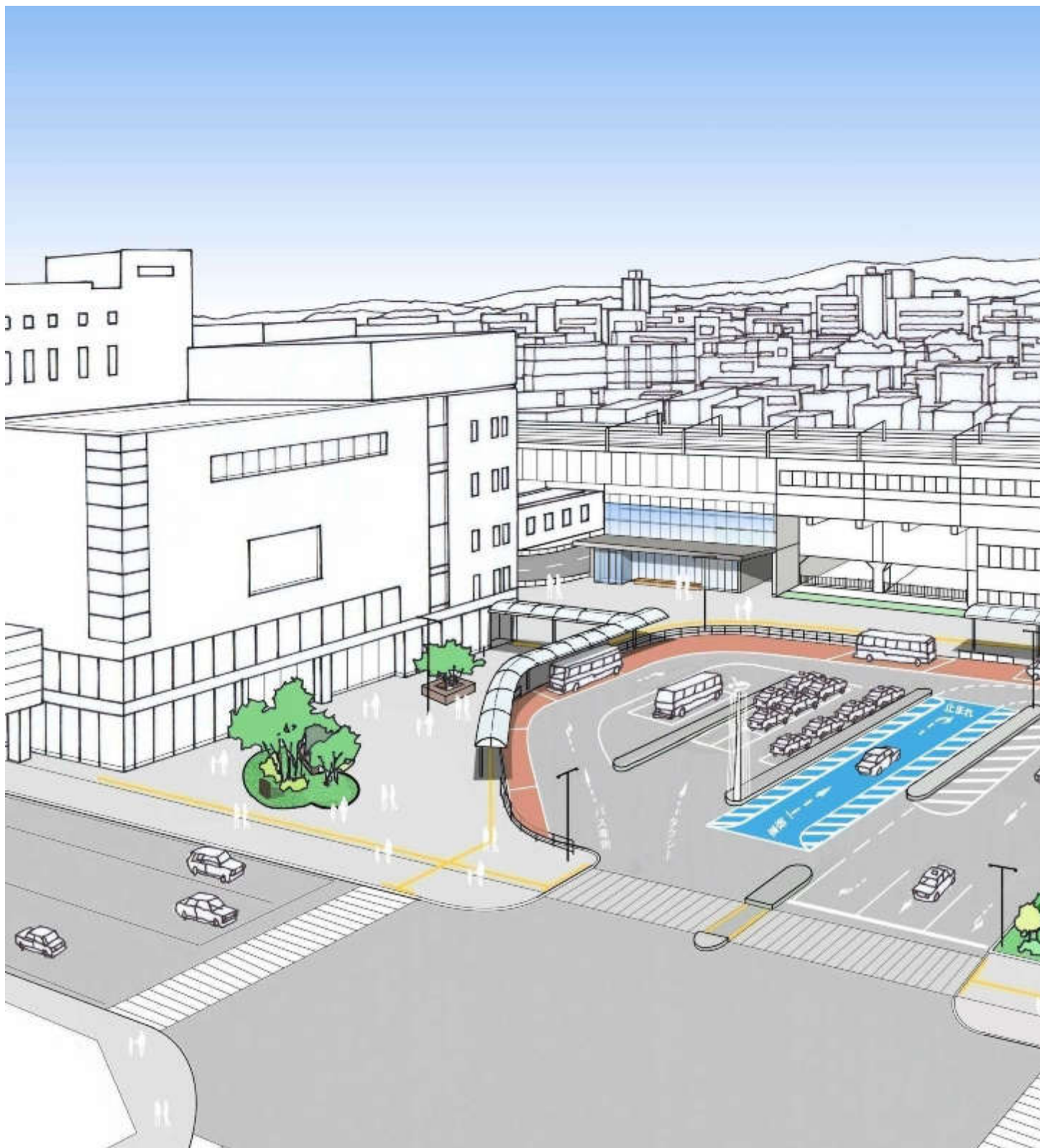
※案内板の一例

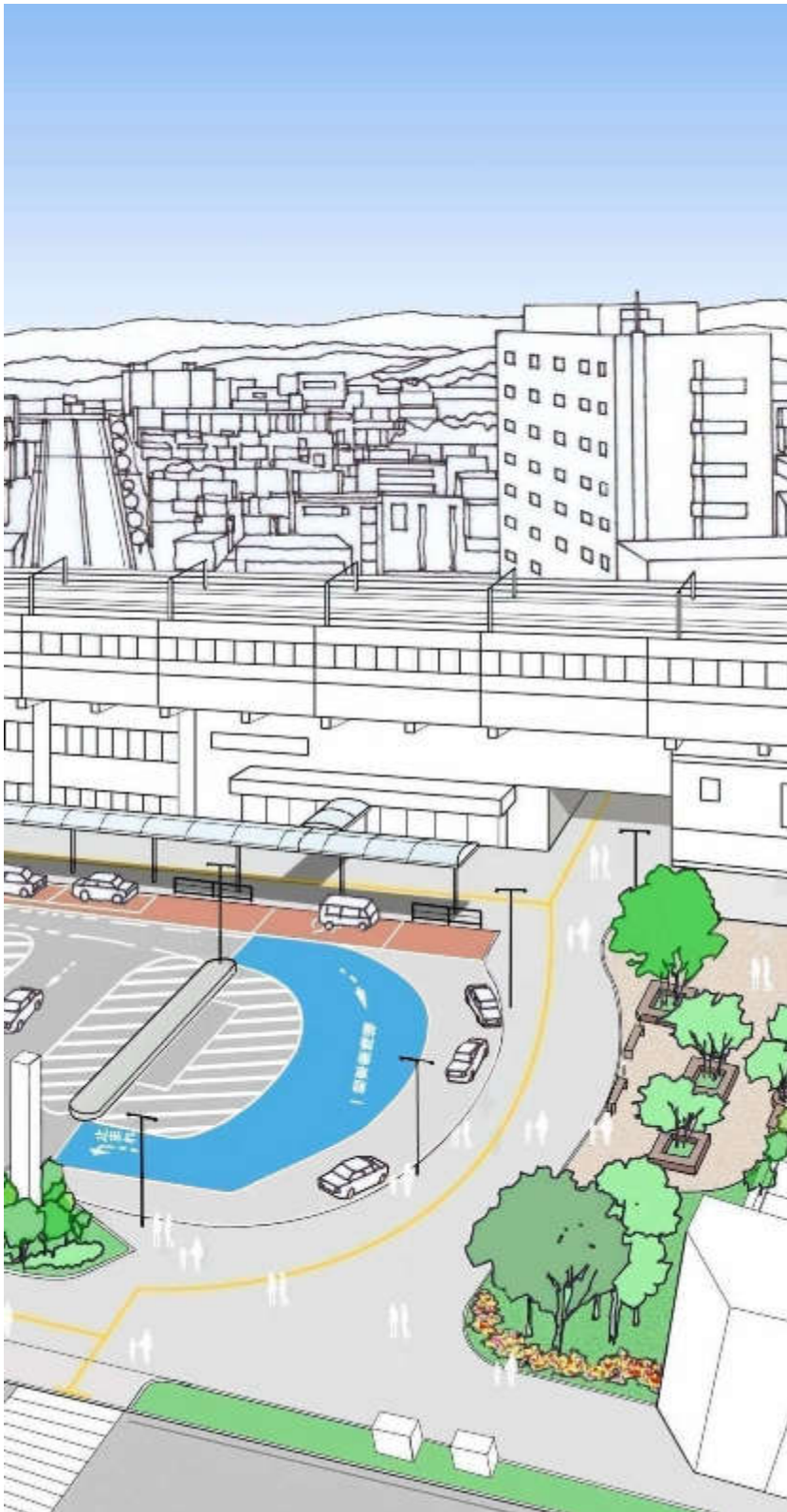
再整備基本計画図





東口広場の30分無料駐車場は、令和2年度実施の基本設計の段階において、マイクロバス乗降場に変更しています。





▲郵便局前緑地



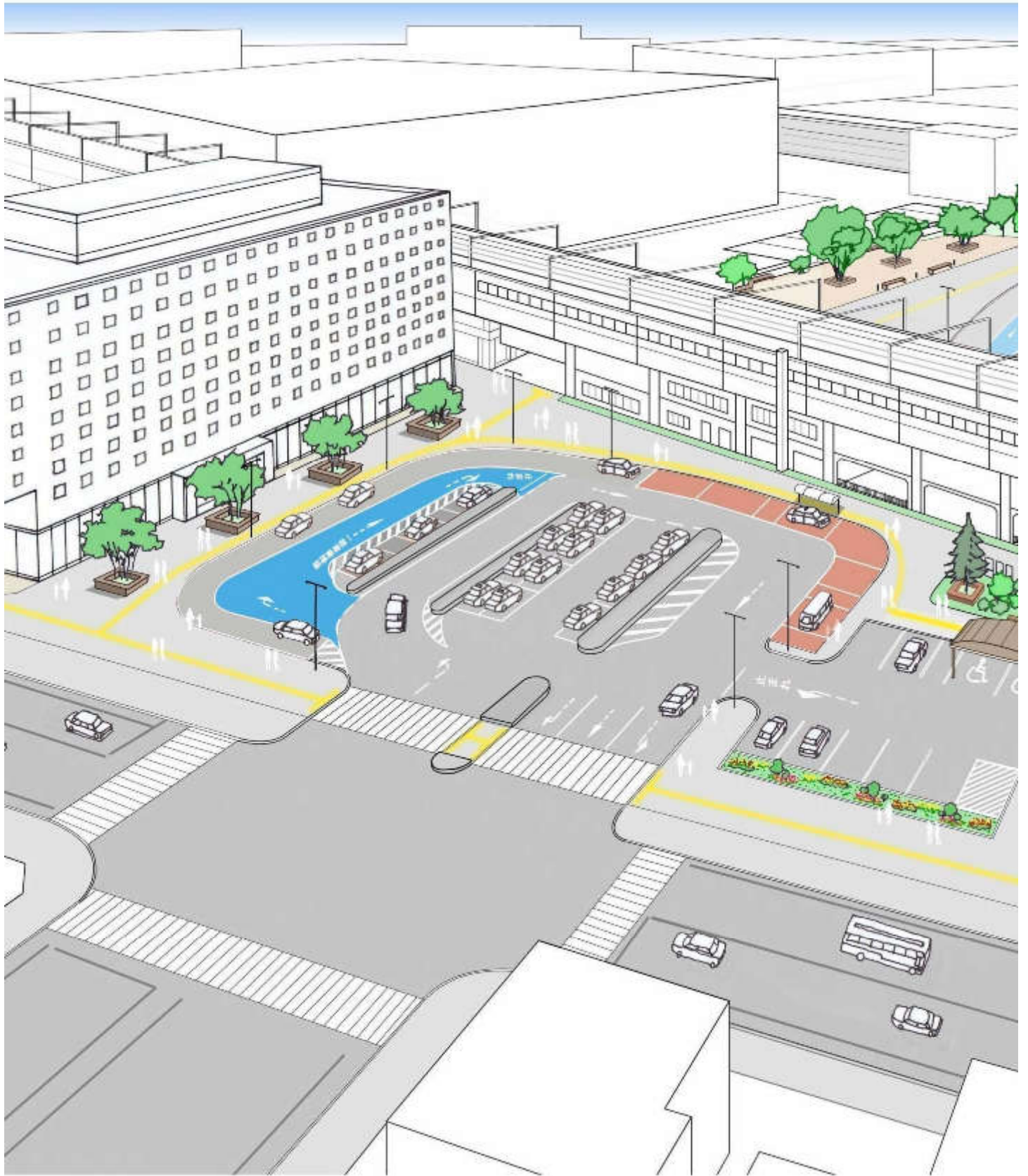
▲ステーションプラザ前から
2号連絡歩道にかけて

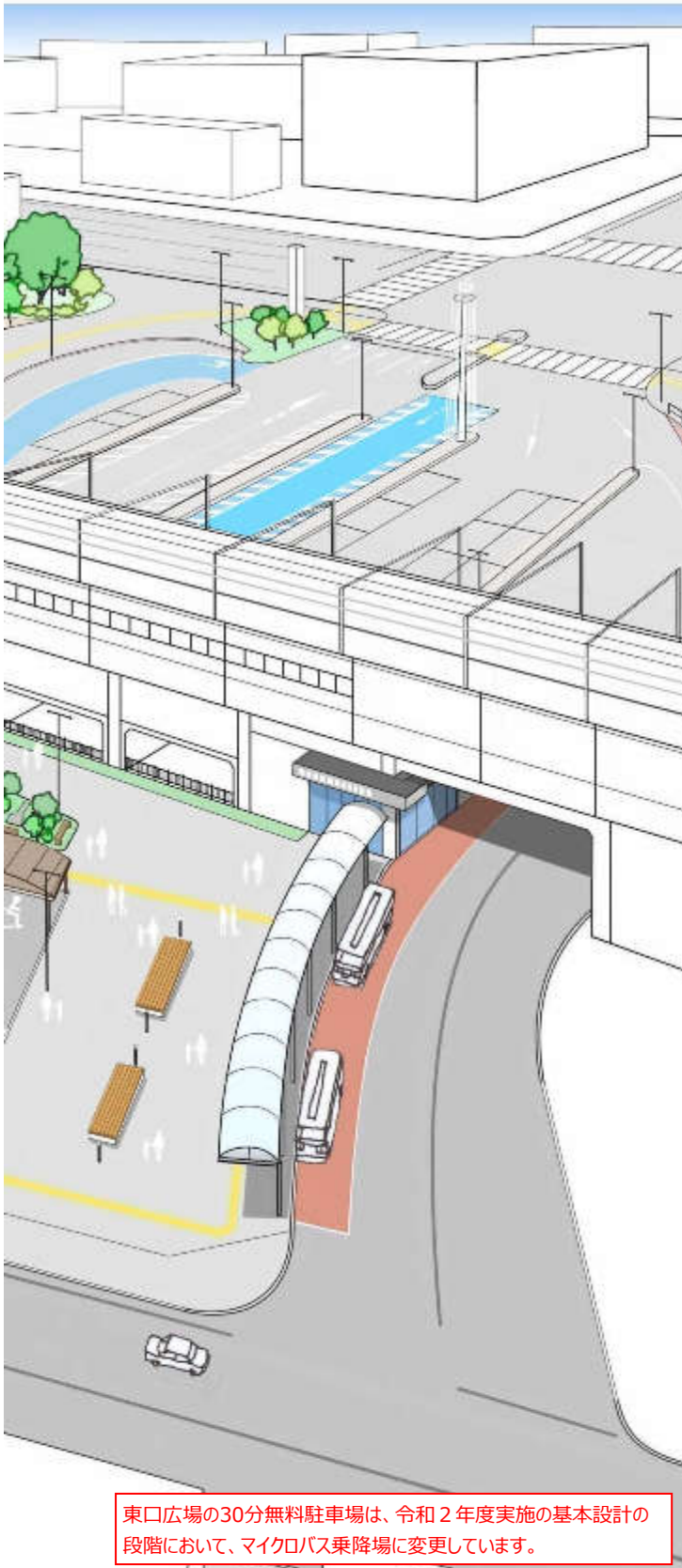
RE newal
of Chitose station square.



RE

東口整備イメージ





東口広場の30分無料駐車場は、令和2年度実施の基本設計の段階において、マイクロバス乗降場に変更しています。



▲バス乗り場付近から2号連絡歩道にかけて



▲駅1階改札口付近から東口広場全景

RE newal
of Chitose station square.



千歳市地域公共交通活性化協議会

Cooperation
協働

検討プロセス

平成26年度	平成29年度
第1回 (2014.6.19) 千歳市交通戦略プランの策定方法 と今後のスケジュール	第2回 (2017.11.6) 基本計画の策定に当たって
第2回 (2015.1.29) 千歳市交通戦略プラン策定状況	第3回 (2018.1.19) 再整備の基本的なテーマや考え方
第3回 (2015.3.30) 千歳市交通戦略プラン(素案) について	第4回 (2018.2.27) 交通機能配置計画案の検討 の考え方
平成27年度	平成30年度
第1回 (2015.6.28) 第2回 (2015.11.13) 第3回 (2016.2.12) 千歳市交通戦略プラン(素案) について	第1回 (2018.6.28) 平成30年度の検討の進め方
2016年3月 千歳市交通戦略プラン策定	第2回 (2018.11.13) 検討経過の確認と今後の方向性
	第3回 (2019.2.12) 再整備基本計画案の検討

千歳市地域公共交通活性化協議会 委員(平成30年度)		※順不同
横田 隆一	千歳市副市長	
伊賀 宗徳	千歳市企画部長	
遠藤 一広	北海道中央バス(株)千歳営業所 所長	
中村 敬臣	千歳相互観光バス(株) 代表取締役	
高本 克彦	道南バス(株)営業部 営業担当次長	
吉田 章	あつまバス(株) 営業部次長	
三戸部 正行	札幌地区バス協会 参与	
五十嵐 慎一	千歳地区ハイヤー事業協同組合 常務理事	
榊原 達也	市民	
廣島 潤子	市民	
藤本 聖美	市民	
大和田 雄二	千歳市町内会連合会	
二ツ屋 香	千歳市社会福祉協議会 評議員	
石川 勇人	千歳市商工会議所中小企業相談所 所長	
清水 久子	千歳市老人クラブ連合会 副会長	
山本 啓子	千歳市商店街振興組合連合会 理事	
中山 俊彰	北海道運輸局札幌運輸支局 首席運輸企画専門官	
杉浦 一秀	北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 バス部会幹事	
小林 大二	千歳科学技術大学理工学部情報システム工学科 准教授	
玉木 俊一	北海道旅客鉄道(株)千歳駅 駅長	
高田 敦	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部千歳道路事務所 所長	
中野 雅博	北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所 所長	
大野 明男	千歳市建設部道路管理課長	
原口 ゆみ子	北海道石狩振興局地域創生部地域政策課長	
杉山 肇	北海道札幌方面千歳警察署交通第一課長	

※敬称略

えきまち空間ワークショップ

平成26年度

第1回 (2014.9.12)

千歳駅周辺現地視察
千歳駅周辺整備事業の経緯

第2回 (2014.11.8)

他都市の駅前広場視察(手稲・琴似駅)

第3回 (2014.12.2)

視察報告、千歳駅周辺の課題の抽出

第4回 (2015.1.6)

東京近郊駅視察報告
千歳駅周辺整備の研究

第5回 (2015.2.3)

千歳駅周辺整備の研究

第6回 (2015.3.2)

千歳駅周辺整備の研究

平成27年度

第1回 (2015.5.15)

千歳市交通戦略プラン(素案)の説明
千歳駅周辺サイン改善について

第2回 (2015.9.29)

千歳駅周辺サイン改善の検討
千歳駅前広場の再整備について

第3回 (2015.11.6)

千歳駅前広場の再整備(案)の検討

第4回 (2016.2.10)

千歳駅周辺サイン改善の検討
千歳駅前広場の再整備について

平成29年度

第1回 (2017.11.27)

基本計画の策定に当たって

第2回 (2017.12.28)

駅前広場の現状と課題の整理
再整備の基本的な考え方

第3回 (2018.1.25)

交通機能配置計画案の意見抽出

第4回 (2018.3.29)

交通配置計画(案)と環境空間
に関する意見抽出

平成30年度

第1回 (2018.6.20)

平成29年度検討内容の確認

第2回 (2018.10.29)

駅前広場再整備の方向性の確認

第3回 (2018.11.27)

現地確認と整備イメージの検討

第4回 (2019.1.22)

再整備基本計画(案)の検討

令和元年度

第1回 (2019.8.19)

関係者協議結果について

えきまち空間ワークショップメンバー(平成30年度)※座長以外五十音順

(座長) 藤本 聖美	フジ商産㈱代表取締役
阿部 剛士	(株)エアロテクノサービス
石原 佑真	千歳科学技術大学学生
大宮 裕輔	一般社団法人 千歳観光連盟
小林 大二	千歳科学技術大学理工学部情報システム工学科 准教授
佐藤 翔一	千歳科学技術大学学生
宍戸 大樹	北海道旅客鉄道(株)千歳駅 副駅長
高田 周一郎	弁護士
富成 亨	千歳市職員
廣島 潤子	主婦、科学技術コミュニケーター
松倉 美加	司会業、千歳市議会議員
三澤 計史	北海道中央葡萄酒(株)代表取締役社長

※敬称略



駅前広場再整備のQ&A

Q. バスレーンの乱横断は解消されるのでしょうか。



A.

今回の整備では、西口広場のバスレーンを廃止し、交通機関相互の乗り換えなどの利便性を向上させることを考えています。

Q. 西口広場から駐車場がなくなると不便です。



A.

西口広場の駐車場は、「駐車に時間を要する駐車場」から「停車時間が短くて済む乗降場」に変更します。
駐車場のご利用の方は、東口広場の駐車場をご利用ください。

Q. 東口広場の一般車乗降場の混雑は解消されるのでしょうか。



A.

今回の整備では、一般車両の停車可能台数を現状よりも増やすことに加え、マイクロバスや観光バス専用の乗降場を整備し、混雑の緩和を図ります。

Q. 千歳駅はまちの玄関口です。大々的にリニューアルするべきでは？

A.

現在、市の財政状況は大変厳しく、財源にも限りがありますので、大々的なリニューアルは難しい状況です。
このことから、再整備に当たっては、既存の施設を活用しつつ利便性や安全性に配慮した整備を検討してきました。





Q. 寒くて暗い高架下のバス乗り場は改善されるのでしょうか。



A.

高架下の東口バス乗り場は、室内化するとともに、ベンチや明るい照明を設置することにより、待合環境を改善します。
暖房については、維持管理費がかかるなどの課題があり、設置が難しい状況です。

Q. 緑の空間は残してほしい。



A.

近隣施設などと干渉しているものや、再整備の支障となるもの、周辺環境の変化を受けて生育状況が健全ではないものなどについては、伐採をせざるを得ない状況です。
再整備に当たっては、既存の樹木を生かしつつ周囲と調和した樹種などを植栽することを考えています。

Q. 西口広場はバスとタクシー専用にするべきでは？



A.

現状、西口広場においては、一般車両のご利用が多い状況であり、公共交通優先とした場合、交通量の多い駅前の道路で乗降する人が増えることや交通渋滞の発生などといった安全上の課題があることから難しいものと考えております。

Q. 外国人観光客などの来訪者にも配慮した整備をするべきでは？



A.

再整備に当たりましては、初めて千歳駅に来た方にとってもわかりやすい歩行者導線の整備や案内情報の発信方法やその内容などについて検討を進めていきます。



千歳駅前広場再整備基本計画

担当:千歳市企画部主幹(交通政策担当)
〒066-8686 北海道千歳市東雲町2丁目34番地
電話 0123-24-0897 Fax 0123-22-8854
ホームページ <http://www/city.chitose.lg.jp>
